

〔主催〕 高等教育コンソーシアム久留米

目まぐるしく変化する社会環境や価値観。
想定を上回るスピードで進む18歳人口の減少。
未来を見据えた大学改革の必要性は一層高まり
時代を捉える柔軟性やスピード感も求められています。

他大学との差別化による外部資金の獲得、産学官連携の推進、
地域社会への貢献、国際社会への発信などの重要性も高まり
大学職員への期待が大きく変化しているのです。

社会は今、将来の大学改革を担う
新しい大学職員の誕生を求めています。
さあ、今、立ち上がろう！



このシンポジウムでは

- ①地方の高等教育機関をとりまく現状と今後の展望の整理
- ②大学改革の担い手となる大学職員に求められる能力
- ③高等教育機関同士の連携強化による可能性

といった視点を中心に、大学職員のあり方について
参加者のみなさんと一緒に考察します

【シンポジスト紹介】



久留米大学
常務理事
有馬 彰博 氏



国士舘大学
シニア・スーパーバイザー
美納 清美 氏



関西大学
学事局参与
原 徹 氏

SDシンポジウム
テーマ

「2040年の社会×
大学職員のあり方」
ー 未来の大学を語る。大学職員のチカラでー

5.13 SAT 14:00-15:30

〔会場〕 筑水会館1階中会議室

福岡県久留米市旭町67（久留米大学旭町キャンパス内）

参加予約はこちら↓

〔対象〕 連携校職員の皆さま 参加料無料・事前予約制

ご参加を希望の方は右のQRコードよりお申し込みください

〔お問合せ〕 高等教育コンソーシアム久留米

久留米大学地域連携センター内 0942-43-4413

